

行政視察受け入れ

4月25日、群馬県議会文教警察常任委員会議員8名と随員あわせて15名が、行政視察のため、本村を訪れました。

当議会からは、正副議長、厚生文教常任委員長、村からは教育長、教育次長のあわせて5名が同席し、本村の教育施策について、研修を行いました。

研修は、「本村教育施策のこれまでとこれから」をテーマに、本村が過去2年間に行ってきた教育施策を中心に説明を行いました。その中で、本村が進めてきた、人が人とつながり社会をつくる力「社会力」を養うことに、大変感心を持たれました。また、その一環の事業として行っ

ている「ノーテレビ・ノーゲーム運動」についても、ぜひ取り入れたいと賛同し、「効果はどうなのか」、「いきなりノーで保護者の反感はなかったか」、「ノー携帯も必要ではないか」などと熱心に意見交換が行われました。

群馬県議会文教警察常任委員会の皆さま、ありがとうございました。



群馬県議会文教警察常任委員会の皆さまと（美浦村役場前にて）

議員 視察研修報告会

視察日

平成25年5月1日

視察先

河内町子育て支援住宅「たいようの里団地」

視察内容

本村だけではなく、河内町でも人口減少が深刻な問題となっています。しかし、河内町では、次々と定住促進の施策を行っています。今回新たに完成した子育て世代を優遇した町営住宅「たいようの里団地」の視察を行いました。

「たいようの里団地」は、本年3月子育て世帯が優先的に入居できる町営住宅として完成しました。3LDKの一戸建て住宅を15戸建設し、すでに12戸の入居が決まっているそうです。さらに、この住宅は、子育て世帯が優先的に入居できる

ほかに、高校生までの子ども一人につき50000円の家賃割引が受けられます。（限度額15000円）
当議会でも、村営住宅の建設については、ここ数年一般質問などで取り上げています。本村も河内町に負けず、人口減少阻止を課題に、積極的に取り組んでいかなければならないと思いました。



子育て支援住宅を参考に美浦村でも定住促進の施策を